観光問題

問 観光局移転に伴う、お客様への対応は

答 行政だけでなく年配者の力を借りたい

太田 修 議員

【観光企画への取り組み状況について】

問 外国人観光者の適切な受け入れ体制は。

村長 生活マナーと迷惑行為の注意喚起など、英語版ガイドマップをスキーシーズン前に作成・配布や夜間パトロールを実施します。記載内容は外国人居住者の局会員を中心に生活文化等の違いを分かりやすい表現で検討します。

問 「山の日」制定への取り組みは。

村長 広域連合では事業系ごみ袋と家庭ごみ袋の二種類を作る予定で、行政区の集積所で受け入れし、処理料金は広域連合で決定され、袋の販売価格に含まれます。

問 局移転に伴う、お客様への案内等の対応は。

村長 旧駅前観光案内所を白馬町有志の協力で再開できました。お客様の評判も良く、案内や休憩等の利用者も多く、観光への要望や意見等も伺えました。年配の人達のお力をお借りすることが大事と実感しました。

【公共下水道受益者負担金問題について】

問 賠償判定審査会の答申額と個人別賠償請求額の差異は。

村長 在籍年度の違いはあるが、お互いに果たす役割、責任の度合いは同じと判断し請求しました。

問 今後、担当職員の配属等への問題は。

村長 この問題を契機に村民益を第一に考え、公共的な観点から行動する意識改革を促すとともに、職員、上司と部下の評価や考え方のギャップを埋めるなど信頼関係を築きます。

問 理事者に対する村民感情への配慮は。

村長 職員の管理監督責任を明確にするため、特別職報酬等審議会に諮問し、総額で村長30万円、副村長15万円の報酬減額と職員の懲戒処分をあわせて行います。また、村民には「広報はくば」や行政ホームページ等で丁寧な情報発信など、説明する機会を設け信頼回復に努めます。

防災訓練（救急法講習会）　９月８日

【防災対策等について】

問 公民館機能を兼ねた高齢者地域支え合い拠点施設への考えは。

村長 特に村が配慮すべき問題は、地域負担に不公平が生じないことです。昨年新たに村独自の助成制度の枠組みを設け、各地区に示した結果、５地区から建設や改修の要望があり、規模や用途、資金計画等、地域住民の合意を得ながら進めたいと考えています。

問 気象庁による特別警報開始に伴う対策は。

村長 防災行政無線や消防団などの広報車により巡回し、住民に周知します。全国瞬時警報システムによる自動放送は、受信機の改修が必要であり平成26年２月に対応する予定です。